第13期 決算公告

自 2017年9月1日

至 2018年8月31日

アクサス株式会社

貸借対照表

(2018年8月31日現在)

(2018年8月31日現在) 資産の部 負債の部			
科目	金額	科目	金 額
	千円		千円
【流動資産】	6, 474, 818	【流動負債】	7, 370, 815
現金及び預金	699, 960	買掛金	590, 178
売 掛 金	448, 942	短 期 借 入 金	6, 170, 000
商品	4, 245, 607	1年内返済予定の長期借入金	226, 990
貯 蔵 品	3, 354	未 払 金	224, 479
前 渡 金	63, 981	未 払 法 人 税 等	18, 553
短 期 貸 付 金	880,000	未払消費税等	39, 919
預け金	85, 648	預 り 金	3, 533
前 払 費 用	57, 264	前 受 金	21, 328
未 収 入 金	23, 614	賞 与 引 当 金	32, 320
繰 延 税 金 資 産	115, 284	ポイント引当金	21, 257
未収還付法人税等	929	短期リース債務	3, 838
そ の 他	1, 448	そ の 他	18, 416
貸倒引当金	△ 151, 217		
【固定資産】	4, 676, 002	【固定負債】	1, 793, 216
(有形固定資産)	3, 836, 581	長 期 借 入 金	1, 447, 682
建物及び構築物	1, 244, 343	受 入 保 証 金	139, 202
機械装置及び運搬具	1, 136	長期リース債務	2, 664
什 器 備 品	115, 097	資 産 除 去 債 務	153, 042
土 地	2, 473, 319	繰延税金負債	46, 995
建設仮勘定	2, 685	そ の 他	3, 628
(無形固定資産)	84, 949	負債合計	9, 164, 031
借地推	30, 296	純資産の部	
ソフトウェア	46, 831	【株主資本】	1, 955, 678
電話加入権	7, 821	資 本 金	90,000
(投資その他の資産)	754, 470	資本剰余金	1, 210, 000
投資有価証券	158, 336	資本準備金	400, 000
操延税金資産	85, 904	その他資本剰余金	810, 000
差入保証金	36, 965	利益剰余金	655, 678
敷 金	414, 398	その他利益剰余金	655, 678
長期前払費用貸倒懸念債権	46, 960	繰越利益剰余金 【 亚伍。始 質 美 類 笠】	655, 678 31, 110
	12, 749	【評価・換算差額等】	·
	$11,906$ $\triangle 12,749$	その他有価証券評価差額金	31, 110
貸 倒 引 当 金 		 純資産合計	1, 986, 789
	11, 150, 821		11, 150, 821
具件口則	11, 100, 021	スタスマルの大田口口	11, 100, 021

個別注記表

(1) 有価証券の評価基準及び評価方法

関係会社株式

移動平均法による原価法

その他有価証券

時価のあるもの

期末日の市場価格等に基づく時価法(評価差額は全部純資産直入法により処理し、売却 原価は移動平均法により算定)によっております。

(2) たな卸資産の評価基準及び評価方法

商品

月別移動平均法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法)を採用しております。貿易事業部については先入先出法による原価法(貸借対照表価額は収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法)を採用しております。

貯蔵品

最終仕入原価法による原価法

(3) 固定資産の減価償却の方法

有形固定資産 (リース資産を除く)

定率法を採用しております。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物(建物付属設備を除く)及び2016年4月1日以降に取得した建物付属設備並びに構築物については定額法によっております。

なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物・・・・・・・3~39年

什器備品・・・・・3~20年

無形固定資産(リース資産を除く)

定額法を採用しております。なお、自社利用ソフトウェアについては、社内における利用 可能期間 (5年) に基づいております。

リース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

(4) 引当金の計上基準

貸倒引当金

債権の貸倒れによる損失に備えるため、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念 債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しておりま す。

賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額のうち当事業年度負担額を計上しております。

ポイント引当金

ポイントカードの利用により付与されたポイントの将来の使用に備えるため、利用実績に基づき、将来使用されると見込まれる額のうち費用負担相当額を計上しております。

(5) 重要な外貨建の資産又は負債の本邦通貨への換算の基準

外貨建金銭債権債務は決算日の直物為替相場により円貨に換算し、換算差額は損益として 処理しております。

- (6) 消費税等の会計処理・・・・税抜方式によっております。
- 2. 当期純利益金額

当期純利益 450,813 千円